

令和5年度
クリーニング師学科試験問題

指示があるまで開いてはいけません

試験時間 60分

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

衛生法規に関する知識

問1 クリーニング業法第2条の条文について、()に入る語句を語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

この法律で「クリーニング業」とは、(ア)又は洗剤を使用して、衣類その他の(イ)又は皮革製品を原型のまま洗たくすること((イ)を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行なうことを含む。)を営業とすることをいう。

この法律で「営業者」とはクリーニング業を営む者(洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡しをすることを営業とする者を含む。)をいう。

この法律で「クリーニング師」とは、第六条に規定する(ウ)を受けた者をいう。

この法律で「(エ)」とは、洗たく物の処理又は受取及び引渡しのための営業者の施設をいう。

| | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1. 薬品 | 2. 溶液 | 3. 溶剤 |
| 4. 布製品 | 5. 繊維製品 | 6. 皮革製品 |
| 7. 免状 | 8. 免許 | 9. 登録 |
| 10. クリーニング所 | 11. クリーニング施設 | 12. 営業所 |

問2 クリーニング業法施行規則第1条に規定する消毒を要する洗たく物として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。なお、当該洗たく物は営業者に引き渡される前に消毒されていないものとします。

- 1 伝染性の疾病にかかっている者が使用した物として引き渡されたもの
- 2 作業着、下着その他これらに類するもの
- 3 介護保険施設において療養のために使用された寝具その他これに類するもの

問3 クリーニング所の利用者に対する説明義務等について、苦情の申出先として掲示する事項のうち、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 クリーニング師の氏名
- 2 クリーニング所の名称
- 3 クリーニング所の所在地
- 4 クリーニング所の電話番号

問4 クリーニング師免許について、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 クリーニング師の免許は、内閣総理大臣がクリーニング師試験に合格した者に与える。
- 2 クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、一月以内に再交付の申請をしなければならない。
- 3 クリーニング師が、その本籍又は氏名を変更したときは、十日以内に免許証の訂正の申請をしなければならない。

問5 クリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後1年以内に研修を受けた後は、5年を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。
- 2 営業者は、クリーニング所の業務に従事する者に対し、講習を受けさせなければならない。
- 3 営業者は、クリーニング所の開設の日又は無店舗取次店の営業開始の日から6ヶ月以内に、業務従事者に対する講習を受けさせるものとする。
- 4 クリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習は、都道府県知事が内閣の定める基準に従って指定するものである。

問6 次の1から4はクリーニング業法の違反について述べたものであるが、2,000円以下の罰金に処せられるものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 クリーニング所を開設する際に虚偽の届出をした。
- 2 構造設備について都道府県知事の確認を受けないまま、クリーニング所を使用した。
- 3 環境衛生監視員の検査を拒み、妨げ、又は忌避した。
- 4 クリーニング業の営業停止処分に違反した。

問7 クリーニング所における衛生管理要領に示されている、指定洗濯物の一般的な消毒方法に関する記載について、()に入る語句を語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

指定洗濯物の一般的な消毒方法は、理学的方法と(ア)に大別される。(ア)は塩素剤による消毒、界面活性剤による消毒、(イ)ガスによる消毒、酸化エチレンガスによる消毒、過酢酸による消毒に分類される。

界面活性剤による消毒では殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に(ウ)以上で30分間以上浸す必要がある。

酸化エチレンガスによる消毒では、あらかじめ真空にした装置に酸化エチレンガス及び炭酸ガスを(エ)に混合したものを注入する。

過酢酸の原液は強い刺激臭や(オ)があるので、過酢酸による消毒の際には注意する必要がある。

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 1. 物理学的方法 | 2. 生物学的方法 | 3. 化学的方法 |
| 4. ホルムアルデヒド | 5. アセトアルデヒド | 6. プロピオンアルデヒド |
| 7. 20℃ | 8. 30℃ | 9. 40℃ |
| 10. 1対9 | 11. 2対8 | 12. 3対7 |
| 13. 発がん性 | 14. 還元性 | 15. 腐食性 |

公衆衛生に関する知識

問1 次の記述はWHO（世界保健機構）憲章における「健康」の定義に関する内容である。（ ）に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

健康とは、肉体的、（ A ）に完全によい状態にあることであり、単に疾病又は（ B ）ないということではない。及ぶ限り最高の健康水準を享受することは、人権、宗教、政治的信条、経済状態のいかんを問わず、すべての人間の（ C ）である。

| | A | B | C |
|---|----------|-----|-------|
| 1 | 精神的及び文化的 | 貧困で | 基本的保証 |
| 2 | 精神的及び社会的 | 虚弱で | 基本的権利 |
| 3 | 精神的及び教育的 | 障害が | 基本的平等 |

問2 次の記述は令和4年のわが国の人口動態統計、人口推移に関する内容である。誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 年少人口（15歳未満人口）、生産年齢人口（15～64歳人口）、老年人口（65歳以上人口）の全てにおいて減少傾向にあり、人口減少が始まっている。
- 2 死因順位は、第1位は悪性新生物＜腫瘍＞、第2位は心疾患（高血圧性を除く）、第3位は老衰、である。
- 3 合計特殊出生率とは、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、令和4年は1.26で過去最低となった。

問3 次の記述は地域保健法で定められている保健所の業務に関する内容である。正しいものを2つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 出生届の受理に関する事項
- 2 保健師に関する事項
- 3 国民健康保険に関する事項
- 4 食品衛生に関する事項

問4 次の文章の()にあてはまる語句を下の枠内の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

感染の成立は、「病原体(感染源)」「(1)」「宿主」の3つの要因が揃うことで、感染制御の原則は、病原体を「持ち込まない」「持ち出さない」「(2)」が基本である。

病原体を(3)又は(4)方法により死滅させ、あるいは感染量に達しない程度まで大幅に(5)させることを、消毒という。

クリーニング業において、感染症対策として実施される消毒方法には、高熱処理法と(6)処理法とがある。

| | | | | |
|--------|---------|----------|---------|-------|
| ア. 精神的 | イ. 消毒剤 | ウ. 増やさない | エ. 化学的 | オ. 安全 |
| カ. 物理的 | キ. 感染経路 | ク. 衛生的 | ケ. 減少 | コ. 虚弱 |
| サ. 重傷 | シ. 滅菌 | ス. 季節 | セ. 感染媒体 | ソ. 抹消 |
| タ. 感染 | チ. 拡げない | ツ. 圧力 | テ. 保存的 | ト. 培養 |

問5 次の記述はノロウイルスに関する内容である。誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 感染すると下痢等の症状がなくなっても、通常では1週間程度、長い場合は1か月程度ウイルスの排泄が続くことがある。
- 2 ノロウイルスが含まれていると思われる吐しゃ物やふん便が付着したリネン類の下洗いは、次亜塩素酸ナトリウムが200ppm以上になるようにして消毒する。
- 3 下洗いたリネン類の消毒は、85℃・1分間以上又は80℃・10分間以上の熱水洗濯が適している。
- 4 ノロウイルスは乾燥すると容易に空中を浮遊し、それが吸入されて感染性を示すことがある。

問6 次の記述は労働安全衛生に関するものである。誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 労働安全衛生管理の基本は、①作業環境管理、②作業管理、③健康管理の3つである。
- 2 労働者数50人未満の事業場は産業医の選任義務がないが、小規模事業場への支援を行う「産業保健総合支援センター」が全国に設置されている。
- 3 ドライクリーニングで使用する石油系溶剤は、「有機溶剤中毒予防規則」の「第3種有機溶剤等」に該当する。
- 4 テトラクロロエチレンを使用する事業者は、発がん性を踏まえた措置として、作業記録、作業環境測定結果とその評価結果、特殊健康診断結果等の記録を10年間保存しなければならない。

問7 次の記述は環境保護やクリーニング業における取組に関するものである。誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 SDGs（持続可能な開発目標）とは2015年の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である。
- 2 SDGsには17の目標と169のターゲットがあるが、目標に達しない場合の罰則はない。
- 3 プラスチックごみの削減や資源循環に向けて、クリーニング業においてもプラスチックの3R（リデュース、リユース、リサイクル）や再生プラスチック等の利用の取組が求められている。
- 4 特定プラスチック使用製品には12製品が指定されており、クリーニング業では、衣類用ハンガー、衣類用カバー及びレジ袋が対象製品となっている。

問8 次の記述は令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことによる基本的感染対策の考え方に関するものである。正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 マスクの着用は個人の主体的な選択が尊重されるため、高齢者施設を訪問する際のマスク着用は、個人の判断に委ねることを基本とする。
- 2 手洗い等の手指衛生は、新型コロナウイルス感染症の特徴を踏まえた基本的感染対策として、引き続き有効であるとされている。
- 3 換気を行うことは効率的な冷暖房の妨げにつながるため、5類感染症移行後は、有効な感染対策に推奨されなくなった。
- 4 感染症法に基づく新型コロナ患者や濃厚接触者に対する外出制限はなくなったが、外出自粛は引き続き求められている。

洗濯物の処理に関する知識

問1 次のAからEまでの記述について（ ）の中から適切な語句を選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- A ランドリー用水の条件として、無色透明、無味無臭、液性が中性であることや、（1. 硬水 2. 軟水）であることが挙げられる。
- B ランドリーで主に使用されるのは（1. 酸化 2. 酵素）漂白剤で、酸素系漂白剤と塩素系漂白剤の2つに分けられる。
- C 漂白剤の（1. 次亜塩素酸ナトリウム 2. 酸性亜硫酸ナトリウム）及び過酸化水素はナイロンに使用できない。
- D 絹の外観に似せて人工的に作った再生繊維である（1. レーヨン 2. アクリル）は、光沢が強い、染色性がよい、肌触りがよいなどの特徴がある。
- E 洗剤の主成分である（1. サワー剤 2. 界面活性剤）は界面張力を低下させる働きがある。





問2 次のAからEまでの記述について（ ）の中から適切な語句を選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- A 毛皮は湿度に弱く脱脂されるので（ア. ドライクリーニング イ. パウダークリーニング）を行う。
- B ランドリーの工程で、本洗いは石けんまたは洗剤を使用しアルカリ剤（メタ珪酸ナトリウム）を加える。アルカリ剤は、pHを（ア. 8～9 イ. 10～11）に保つことで洗剤の洗浄を助ける。
- C 次亜塩素酸ナトリウムの標準使用量は水1Lあたり（ア. 2g以下 イ. 5g以上）であり、低温で効果がある。
- D ドライクリーニングのチャージシステムではソープ濃度は（ア. 0.5～1% イ. 5～10%）が一般的である。
- E 石油系溶剤は油脂溶解力が（ア. 大きく イ. 小さく）比重が軽いのでソフト洗いに適している。

問3 次のAからEまでの記述について、正しいものには○印を、誤っているものに×印を解答欄に記入しなさい。

- A 汗、果汁、デンプンによる汚れは水溶性のシミである。
- B 水溶性のシミは霧吹きで霧をかけると、シミよりも生地のほうが水分を早く吸収する。
- C シミ抜きは、油性処理、水溶性処理、酵素処理の順序で行う。
- D 漂白剤を使用する際は、酸化漂白処理、還元漂白処理の順序で行う。
- E 油性のシミは、水や溶剤に溶けない性質がある。

問4 次のAからEまでの洗濯記号の説明として正しい方を選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

| | | |
|---|---|--|
| A |  | <ol style="list-style-type: none"> 1. パークロロエチレン溶剤ドライクリーニングができる。 2. 石油系溶剤でのドライクリーニングができる。 |
| B |  | <ol style="list-style-type: none"> 1. 水温30℃を上限とし、弱い機械力で洗濯機で洗える。 2. 時間30分を上限とし、弱い機械力で洗濯機で洗える。 |
| C |  | <ol style="list-style-type: none"> 1. 漂白剤は酸素系漂白剤が使える。 2. 漂白剤は塩素系漂白剤が使える。 |
| D |  | <ol style="list-style-type: none"> 1. 非常の弱い処理に限り、ウェットクリーニングができる。 2. 通常のウェットクリーニング処理ができる。 |
| E |  | <ol style="list-style-type: none"> 1. 排気温度60℃を上限とし、タンブル乾燥できる。 2. 排気温度80℃を上限とし、タンブル乾燥できる。 |

令和5年度クリーニング師試験問題解答

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

1. 衛生法規に関する知識 (配点: 100点)

| 問 1 | | | |
|-----|---|---|----|
| ア | イ | ウ | エ |
| 3 | 5 | 8 | 10 |

(5点×4問)

| 問 2 | | |
|-----|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| ○ | × | × |

(5点×3問)

| 問 3 |
|-----|
| 1 |

(10点)

| 問 4 |
|-----|
| 1 |

(10点)

| 問 5 |
|-----|
| 2 |

(10点)

| 問 6 |
|-----|
| 3 |

(10点)

| 問 7 | | | | |
|-----|---|---|----|----|
| ア | イ | ウ | エ | オ |
| 3 | 4 | 8 | 10 | 15 |

(5点×5問)

| | |
|----|-------|
| 得点 | |
| | / 100 |

2. 公衆衛生に関する知識 (配点: 100点)

| 問 1 |
|-----|
| 2 |

(10点)

| 問 2 |
|-----|
| 1 |

(10点)

| 問 3 | |
|-----|---|
| 2 | 4 |

(5点×2問)

| 問 4 | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| キ | チ | カ | エ | ケ | イ |

(5点×6問)

←問4の3, 4の回答は逆でも正解とする。

| 問 5 |
|-----|
| 2 |

(10点)

| 問 6 |
|-----|
| 4 |

(10点)

| 問 7 |
|-----|
| 4 |

(10点)

| 問 8 |
|-----|
| 2 |

(10点)

| | |
|----|-------|
| 得点 | |
| | / 100 |

3. 洗たく物の処理に関する知識 (配点: 100点)

| 問 1 | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
| 2 | 1 | 1 | 1 | 2 |

(5点×5問)

| 問 2 | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
| イ | イ | ア | ア | イ |

(5点×5問)

| 問 3 | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
| ○ | × | ○ | ○ | × |

(5点×5問)

| 問 4 | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
| 2 | 1 | 1 | 2 | 1 |

(5点×5問)

| | |
|----|-------|
| 得点 | |
| | / 100 |

| | |
|-----|-------|
| 総得点 | |
| | / 300 |